

番号

2026年 09月 26日

都道府県知事 殿

申請者

住 所 岡山県岡山市中区倉田567-1

氏 名 公益財団法人 操風会 岡山旭東病院
代表理事 土井 基之

公益財団法人操風会 岡山旭東病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和7年度の業務に関して別添のとおり報告
します。

項目 1 : 基本情報

① 医療機関コード (医科 / 歯科)

医科	3310111319
歯科*	

*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者*

住所**	岡山県岡山市中区倉田567-1
氏名	公益財団法人操風会 岡山旭東病院 代表理事 土井基之

*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

**開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	公益財団法人操風会 岡山旭東病院	
管理者 役職・氏名	公益財団法人操風会 岡山旭東病院 代表理事 土井基之	
郵便番号 (半角ハイフンなし)	703-8265	
所在地 1 (自動入力)	岡山県岡山市中区倉田567-1	
所在地 2		
電話番号	086-276-3231	

一般病床数	214
療養病床数	
感染症病床数	
精神病床数	
結核病床数	
合計病床数	214

④ 地域医療支援病院の承認年月日

年月日	平成23年 7月29日
-----	-------------

項目 2 : 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数 . . . (1) *	8870
初診患者数 . . . (2) **	11968
紹介率 . . . (1) ÷ (2)	74.11%
逆紹介率	
逆紹介患者数 . . . (3) ***	14561
逆紹介率 . . . (3) ÷ (2)	121.67%

* (1) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数（初診の患者に限る）。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診

** (2) 医学的に初診といわれる診療行為があった患者数（以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者）

*** (3) 診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者（開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く）。

項目3： 共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	事務部 医療秘書課 地域連携室 室長
----	--------------------

② 登録医療機関数

登録医療機関数	52
上記のうち、 開設者と直接関係のない*医療機関の数	52

*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事などの役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	10
共同利用にかかる病床の病床利用率*	98.6

*共同病床利用率（小数点第1位まで）

共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数

（月間日数×月末病床数）の1～12月の合計 ×100

共同利用を実施している医療機器*	
☒	CT
☒	MRI
☒	PET
☐	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
☐	マンモグラフィ
☒	その他
▼「その他」を選択した場合は入力してください。	
核医学診断装置RI・骨塩定量検査・放射線治療機器（サイバーナイフ）	

*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等
図書室

共同利用を行った医療機関の延べ数	3,672
------------------	-------

項目 4 : 救急医療の提供の実績

① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,880
上記以外の救急患者の数	1,057

*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	
専用病床数	12

③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

施設名/ 床面積/設備概要/ 24時間使用の可否:可 救急処置室/ 49.32㎡ (主な設備) ・超音波診断装置:GE LOGIQ P10 1台 ・救急蘇生装置:MURANAKA(気管内挿管セット) 1台 ・除細動器:PHILIPS DFM100 1台 ・心電計:フクダ電子 FCP-9800 1台 ・呼吸循環監視装置:フクダ電子 DS-8100 2台 ・血液ガス分析装置:RADIOMETER ABL90 1台
放射線課/ 325.91㎡/ 24時間使用の可否:可 (主な設備) ・マルチスライスCT装置:GE LightSpeed VCT VISION 1台 ・MRI装置:GE 1.5T EXPLORER D 1台 - GE 3.0T SIGNA Architect 1台 - GE 3.0T シグナ Premier 1台 - GE 3.0T ディスカバリー MR750w 1台 ・X線撮影装置:富士フイルムメディカル Radnex50 1台 ・X線撮影装置:GE Discovery XR656 1台 ・血管撮影装置:GE INNOVA II 1台

検査課/ 189.54㎡/ 24時間使用の可否:可

(主な設備)

- ・生化学免疫自動分析装置：日立・ダイアグノスティクス cobas 8000 1台
- ・全自動免疫分析装置：シメックス HISCL-5000 1台
- ・自動血球計数装置：シメックス XN-2000 1台
- ・血液凝固分析装置：シメックス CN-6000 1台
- ・尿分析装置：栄研化学 US-3100R plus 1台
- ・HbA1C分析装置：東ソー HLC-723 GR01 1台
- ・自動輸血検査装置 バイオラッド IH-500 1台
- ・生化学分析装置（アンモニア）：富士フイルムFDC NX700i
- ・心電図計：フクダ電子 VaSera VS-2500 1台
フクダ電子 VaSera VS-1500 1台
- ・超音波診断装置：日立アリエッタ850 2台
- ・遺伝子解析装置：東洋紡 GENECUBE 1台
- ・リアルタイム濁度測定装置：栄研化学 Loopamp EXIA 1台
- ・検体前処理装置：プロメガ maxwell 1台

薬剤部/ 95.35㎡（含DI室）/ 24時間使用の可否:可

(主な設備)

- クリーンベンチ：SANYO MCV-711ATS 1台
- 医薬品低温恒温器：FUKUSHIMA FMS-500GH 1台
FUKUSHIMA FMU-404I 1台
SANYO MRP-411F 1台
- 自動散剤分包機：Tosho io9090 1台
YUYAMA single-93RZ II 1台
- 全自動錠剤分包機：Tosho Xana-1360 1台
Tosho Xana-1360EU 1台

手術室/ 279.02㎡/ 24時間使用の可否:可

(主な設備)

- ・麻酔器：アコマ 5台
- ・人工呼吸器：アコマ 5台
- ・呼吸循環監視装置：フクダ電子DS-8500 5台
- ・超音波診断装置：コニカミノルタHS2 1台
- ・手術用顕微鏡：カールツァイス 2台 + ライカ1台
- ・関節鏡：Stryker 1588HD 3台
- ・電気手術器：8台
- ・无影灯：セントラルユニTrue Light5500 5台
- ・手術台：瑞穂医科工業 5台、村中 1台
- ・移動型X線装置：島津製作所 MobileArt Evolution 1台
- ・外科用Cアーム型X線装置：GE OEC 9900 Elite 2台
シーメンス Cios Spin 1台

専用病床/ 328.10㎡/ 24時間使用の可否:可

(主な設備)

- ・救急組成装置 : ATOM Emergency Cart E-1 1台
- ・除細動器 : PHILIPS DFM100 1台
- ・ペースメーカー : PHILIPS DFM100 1台
- ・心電計 : フクダ電子 FCP-8321 1台
- ・移動型X線装置 : 島津製作所 MobileArt Evolution 1台
- ・呼吸循環監視装置 : フクダ電子 DS-8500 12台
- ・人工呼吸装置 : Coviden PB-840 2台
日本光電 ハミルトン 4台
- ・経皮的酸素分圧監視装置 : フクダ電子 DS-8500 12台
Coviden N-BSJ 1台
- ・酸素濃度測定装置 : 大正医科 VT-650 1台
- ・微量輸液装置 : TERUMO 輸液ポンプ 43台
TERUMO シリカポンプ 35台
- ・心電図モニター装置 : フクダ電子 DS-8500 12台
- ・自家発電装置 : 三菱電機 自家発電装置
- ・電解質定量検査装置 : RADIOMETER ABL825 1台
- ・血液ガス分析装置 : RADIOMETER ABL825 1台

*24時間体制になっているかも含めてご回答ください。

④ 通常の当直体制以外に重症救急患者の受入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保		あり	
▼「あり」を選択した場合は入力してください。			
		常勤	非常勤
医師数		34	0
	うち専従数	8	0
看護師数（准看護師含む）		47	3
	うち専従数	0	0
薬剤師数		13	0
	うち専従数	0	0
診療放射線技師数		21	0
	うち専従数	0	0
臨床検査技師数		15	0
	うち専従数	0	0
臨床工学技士数		8	0
	うち専従数	0	0
上記以外の従事者数		403	

項目5：地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	病院長
----	-----

② 研修委員会

研修委員会の設置	あり
「あり」の場合 その名称を入力	地域連携営業委員会、人材育成センター

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	12
研修会のうち医師以外の医療従事者を対象にしたものの回数	12
研修会参加延べ人数	1786
症例検討会の開催回数	1回
医学・医療に関する講習会の開催回数	11回
▼主な研修概要	
令和7年度は、地域の医療従事者を対象として、脳神経疾患、認知症、感染症、創傷治療、整形外科、泌尿器科、骨粗鬆症、めまい、パーキンソン病等の専門的な診療知識に加え、患者の権利・接遇、多職種連携、地域医療・病院経営等をテーマとした研修を年間12回開催した。 年間12回の継続的な研修機会を設けることで、地域の医療従事者への最新の医療情報の提供と専門知識の普及、医療機関間の連携強化を推進した。テーマは以下の通りです。 - 岡山旭東病院FUS100症例達成記念講演会 「認知症-最近の話題-」 - 財団合同接遇研修財団合同 患者の権利と接遇研修「患者と医療者が協働する医療」 - 感染研修 「結核って昔の病気じゃないの？今こそ知りたい結核の常識」 「ここまで進んでいる！最新の創傷治療」 「脳卒中急性期の診断と治療～最近の動向～」 「当院における整形外科分野の外傷・障害に対する 画像診断」 - 感染研修会 「尿路感染症と性行為感染症の正しい理解と対応」 「骨粗しょう症治療の最新情報のアップデート-二次性骨折予防とガイドライン改定について-」 「グラグラ」を「スッキリ」しよう！- 多職種連携で挑む「めまい」診療 - 「人と地域の未来を育む共創病院のつくり方」 「パーキンソン病の基礎知識とリハビリテーション ～病態の理解からケアの視	

▼主な研修施設概要

施設名/床面積/ 設備概要

- ・会議室（さくら）81.33㎡
（主な設備）スライドスクリーン、ビデオ機器一式、マイク音響機器一式、ホワイトボード、シャーカステン、机、椅子
- ・会議室（あさがお）/ 49.00㎡
（主な設備）プロジェクター、机、椅子
- ・会議室（ひるがお）/ 64.06㎡
（主な設備）プロジェクター机、椅子
- ・会議室（ゆうがお）/ 36.44㎡
（主な設備）テレビ機器、机、椅子、
- ・会議室（ひまわり）/ 31.49㎡
（主な設備）机、椅子
- ・講堂（パッチアダムスホール）/ 196.07㎡
（主な設備）スライドスクリーン、プロジェクター、DVD機器一式、マイク音響機器一式、演卓、机、椅子
- ・放射線カンファレンスルーム/ 17.91㎡
（主な設備）スライドスクリーン、シャーカステン、机、椅子
- ・図書室89.83㎡/
（主な設備）文献検索システム（医学中央雑誌）ビデオ・DVD機器一式、電子カルテ、パソコン、プリンターコピー機、医学図書、医学雑誌、机、椅子

*：研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目 6 : 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	事務部部长、事務部次長、診療情報管理室室長、 医療秘書課 地域連携室室長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法
一元連番方式で管理
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法
共同利用の実績、救急医療の提供の実績、地域の医療従事者資質の向上を図る為の研修の実績、紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介実績は、地域連携室にて保管。

項目 7 : 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	事務部部长、事務部次長、診療情報管理室室長 医療秘書課 地域連携室室長

② 主な閲覧方法

閲覧方法	閲覧の手続の概要 1.閲覧希望者は、所定の様式「診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧申請書」を記入し、閲覧担当者へ提出。 2.閲覧担当者は、提出された「診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧申請書」を受理した後、閲覧責任者の決済を仰ぎ、閲覧するか否かを決定し、閲覧希望者へ通知する。 3.閲覧担当者は事前に閲覧希望者に閲覧希望日を確認し、閲覧責任者の承認を得て、閲覧希望者に連絡する。閲覧は、閲覧担当者立会いのもと、決められた所定の場所（医療秘書課 地域連携室）で閲覧する。
------	--

③ 閲覧件数・概要

件数	0
▼閲覧者別件数	
医師	0
歯科医師	0
地方公共団体	0
その他	0

項目 8： 医療法施行規則第 9 条の19第 1 項第 1 号に規定する委員会の開催の実績

① 委員会について

委員長の所属・役職		病院長	
委員数		11名	
	院外の委員数	6名	
総開催回数		4回	
▼概要			
日時：令和7年5月20日（火） 出席者 吉岡 純二委員長 他 委員多数 議題：令和7年1月-3月の業務報告について ・人材育成センターの取組紹介 岡山旭東病院 人材育成センター			
日時：令和7年8月19日（火） 出席者 吉岡 純二委員長 他 委員多数 議題：令和7年4月-6月の業務報告について ・岡山旭東病院における臨床倫理の取り組み 岡山旭東病院 倫理コンサルテーション事務局 医療ソーシャルワーカー			
日時：令和7年11月18日（火） 出席者 吉岡 純二委員長 他 委員多数 議 題：令和7年7月-9月の業務報告について ・あなたの「したい」を叶える。リハビリテーション部門の可能性 岡山旭東病院 診療技術部 リハビリテーション課 課長			
日時：令和8年2月17日（火） 出席者 吉岡 純二委員長 他 委員多数 議 題：・令和7年10月-12月の業務報告について ・技能実習生制度と、技能実習生と共に歩んだ2年間 技能実習生受入制度について 岡山旭東病院 事務部 国際支援課 課長 ・人を育て人と育つ、ミャンマー技能実習生と共に歩んだ2年間 岡山旭東病院 看護部 介護福祉士			

項目 9： 患者相談の実績

① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	社会福祉士（MSW） ・ 事務部職員 地域連携室職員 ・ 入院前支援看護師 医療安全管理室 リスクマネージャー
----	---

② 患者相談について

患者相談を行う場所	患者相談支援センター、医療福祉相談室、その他（病棟面談室・外来相談室）
総相談件数	7,134件

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
①公益財団法人 日本医療機能評価機構 認定期間：2026年1月23日～2031年1月22日 ②ISO 15189 臨床検査室・特定健診対応臨床検査室JAB RM100-2007 公益財団法人 日本適合性認定協会 初回認定日：2009年3月23日 有効期限：2029年3月31日 ③人間ドック健診施設機能評価 日本病院会 有効期限：2028年3月31日 ④ジャパン インターナショナル ホスピタルズ (JIH) の推奨を取得	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい
--------------	----

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	

1. 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無（有）

② 情報発信の方法、内容等の概要

当院は、脳・神経・運動器疾患を専門とする地域の基幹病院として、地域医療支援病院および在宅後方支援病院の役割を担い、地域の医療機関・介護福祉施設等との連携を推進している。

地域における当院の主な役割として、「高度先進医療の追及」「院外の連携促進」「医療情報の公開・共有」を掲げ、地域の医療・介護・福祉従事者および患者・市民に対して、様々な媒体・機会を活用した情報発信を行っている。

情報発信については、「地域連携室」「企画広報室」「地域医療サポート室」がそれぞれの対象・役割に応じて分担しながら協働している。各部門に専任職員を配置し、情報の収集・整理・発信を一元的かつ継続的に行う体制を整備している。

当院における情報発信・地域活動は、大きく以下の4つに分類される。

1. 医療・介護・福祉従事者向けの専門的情報提供・教育
2. 患者・市民向けの健康教育・健康増進活動
3. 地域の医療・介護・福祉関係者、行政、住民等とのネットワーク活動
4. 患者・市民に向けた医療・健康情報の広報・情報発信

1) 医療・介護・福祉従事者向けの専門的情報提供・教育

地域の医療・介護・福祉の質の向上を目的として、毎月「地域連携カンファレンス」を開催している。

医療機関、介護・福祉施設、救急隊等の地域の関係者が、日常の業務に活用できる内容となるよう、参加者アンケート等を通じてニーズを把握し、地域の現場から寄せられた課題やテーマをもとに、具体的な症例・事例の紹介、専門職による講演・実演、動画等を取り入れた参加型の学習会を企画・運営している。

2020年度以降は、会場開催とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式で開催しており、遠方の医療・介護関係者等も参加しやすい環境を整備している。

2025年度は12回開催し、延べ1,751名が参加した。

2) 患者・市民向けの健康教育・健康増進活動

患者・市民が疾病や健康について正しく理解し、日常生活における健康管理や疾病予防につなげられるよう、参加無料の健康教室や健康増進企画を継続的に実施している。

主な取組として、転倒予防健康教室、パーキンソン病教室、糖尿病教室等を開催している。

2025年度の主な実績は以下のとおりである。

- ・転倒予防健康教室：12回、379名
- ・パーキンソン病教室：1回、318名
- ・糖尿病教室：19回、88名
- ・その他の健康教室：6回、220名
- ・地域出前講座：24回、820名

また、岡山市から委託を受けて実施している「認知症サポーター養成講座」では、地域の小学校3校、4クラスを対象に出前授業を実施し、児童への認知症に関する普及啓発にも取り組んでいる。

さらに、2020年度からYouTubeチャンネルを開設し、健康・疾病に関する情報を動画で発信している。2024年度は148,011回の視聴、総再生時間8,061時間となっており、視聴者のうち65歳以上が77.2%、55～64歳が14.8%を占めるなど、高齢者層を含む地域住民への情報提供の手段として活用している。

3) 地域の医療・介護・福祉関係者、行政、住民等とのネットワーク活動

地域における医療・介護・福祉の連携を促進するとともに、地域住民の健康増進や地域課題の解決を目的として、関係機関・団体等と連携した活動を行っている。

岡山市中区では、2006年より近隣病院との病病連携を目的として「旭東地区ネットワーク」を開始し、連携担当者間の顔の見える関係づくりを進めてきた。2012年からは、在宅医、在宅サービス事業所、行政、専門職団体等にも連携の範囲を広げ、「中区地域ネットワークアクションプラン策定会議」を発足した。

現在は「なかまちーズ」として、医療・介護・福祉機関だけでなく、地域住民、企業、学校、消防、行政等とも連携し、地域の健康増進、つながりづくり、地域課題の解決に向けた活動を行っている。当院の地域医療サポート室が事務局を担い、定例会議等を通じて継続的なネットワーク形成を支援している。

2025年度には、「キッズビジネスパーク2025」に「なかまちーズクリニック」として出展し、子どもたちを対象に心肺蘇生やエコー検査の疑似体験を実施するなど、地域住民への健康啓発を行った。また、岡山市地域包括支援センターが主催する「サポくまフェスティバル」にも参加し、タブレットを用いた認知症検査等を通じて認知症に関する普及啓発を行った。

4) 患者・市民に向けた医療・健康情報の広報・情報発信

患者・地域住民が必要な医療・健康情報を容易に入手できるよう、疾患別パンフレット、健康情報、健康講座等の情報を作成するとともに、様々な媒体を活用した情報発信を行っている。

主な情報発信媒体として、以下を活用している。

広報誌：年4回発行、ホームページ・病院アプリ：定期的に更新

地域情報誌への連載：年6回、山陽新聞「メディカ」への連載：年7回

その他、雑誌、各種リーフレット等

また、2019年9月にはPHR（Personal Health Record）アプリ

「NOBORI」を導入し、患者自身が検査結果、レントゲン・MRI画像、投薬情報等の診療情報を確認できる環境を整備している。利用者は1,200人を超えており、患者自身による健康管理や健康意識の向上にもつながる取組となっている。

2021年7月には当院独自の病院アプリ「旭東San」のサービスを開始し、外来診察の待ち状況等をスマートフォンから確認できる環境を整備した。2023年4月には入院案内機能を追加し、入院・手術に関する情報も確認できるようにするなど、患者の状況やニーズに応じた情報提供を進めている。

さらに、院内には地域のオープンスペースとして認証された情報コーナー「健康の駅」を設置し、連携医療機関の情報や健康増進に関する情報等を、患者・市民が自由に入手できる環境を整備している。

5) その他の地域に開かれた活動

地域住民との交流や健康啓発を目的として、医療機関としての専門性を活かした様々な地域活動を行っている。

2025年度は、院内コンサート、病院フェスティバル等の「ふれあい企画」を8回開催し、延べ422名が参加した。また、小学生を対象とした病院見学ツアー「キッズデイ」を開催し、27名の親子が参加した。

これらの活動を通じて、医療機関を地域住民にとって身近で開かれた場所とするとともに、医療・健康に関する情報を届ける機会の創出に努めている。

6) 2025年度の主な活動実績

(健康増進企画)

- ・転倒予防健康教室 12回 379名
- ・パーキンソン病教室 1回 318名
- ・糖尿病教室 19回 88名
- ・その他健康教室 6回 220名
- ・地域出前講座 24回 820名
- ・認知症サポーター養成講座（小学校） 3回 4クラス

(専門職向け企画)

- ・地域連携カンファレンス 12回 1,751名

(地域ネットワーク企画)

- ・地域連携懇親会 1回 202名
- ・中区地域「なかまちーズ」定例会議 12回 約25名／回
- ・キッズビジネスパーク2025（なかまちーズクリニック） 1回 約800名
- ・なかまちーズフェスティバル 1回 約2,300名

(ふれあい・情報発信企画)

- ・コンサート企画（病院フェスティバルを含む） 8回 422名
- ・病院見学ツアー「キッズデイ」 1回 27名

7) 取組のまとめ

当院では、地域医療支援病院としての役割を地域住民および地域の医療・介護・福祉関係者に理解していただくとともに、地域全体の医療・介護・福祉の質の向上につなげるため、専門職向けの教育・情報共有、市民向けの健康教育、地域ネットワーク活動、広報・デジタル情報発信等を継続的に実施している。

今後も、地域の医療機関・介護福祉施設・行政・関係団体等との連携をさらに深め、地域のニーズを踏まえた情報発信と健康増進活動を推進することで、地域医療支援病院として地域医療を支える役割を果たしていく。

項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい
▼「はい」の場合、その内容や運用方法の概要	
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類：（大腿骨頸部骨折・脳卒中） ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 国策である5疾病5事業の医療計画に伴い、県内でも岡山市を中心として平成18年度から「地域医療連携が継ぎ目なく円滑に行われ良質の医療を提供する」ことを目的とした医療連携活動が発足し、大腿骨頸部骨折・脳卒中の地域連携バス運用組織である「岡山もも脳ネット」が平成20年に発足。一病院完結型ではなく連携病院完結型の治療計画や情報提供内容のフォーマットの作成、及び運用管理について、組織の立ち上げ当時から岡山版の構築や運用管理について、事務局的な役割を担う一病院として尽力している。 2025年度は幹事病院である岡山労災病院・岡村一心堂病院を中心に引き続き、理事会・運用会議に定期参加をおこなった。	

項目14： その他の特記事項